

第 1518 回 9 月第二例会

令和 5 年 9 月 26 日（火）金沢ニューグランドホテルにて、第 1518 回通常例会が開催されました。



細川会長の挨拶では、金沢市からの要請で「ほほえみフェスタ」に参加することが決定したことや、世界ライオンズ統一デーのアクティビティとして行われた「ヘルメット普及運動」について、

当日は天候が悪い中、参加していただいた方々への感謝を述べられました。



また、前回の挨拶で「長生き」をするために効果的であるとされる、運動と音楽について、運動を飽きずに続けるためにも、行進曲に合わせて「足踏み」をする方法を、自らがインストラクターとなって紹介してくださいました。ジョン・フィリップ・スーザによって作曲されたアメリカ合衆国の愛国的な行進曲「ワシントン・ポスト」が会場に流れると、細川会長が足踏みをし、それに合わせて会場の皆様が足踏みをする、「面白く、楽しい」挨拶となりました。



各種報告 PR 事項では、社会奉仕委員長の東龍盛 L.から、地区統一交通安全アクティビティ「ヘルメット普及運動」についての報告に続いて、10 月 25 日（水）に金沢国際ホテルで行われるガバナー

公式訪問例会での「合同献血」へのご協力のお礼がありました。また、幹事の多田浩人 L.からは、10 月 8 日（日）に行われる「世界ライオンズデー卯辰山清掃活動」、また 11 月 25 日（土）に行われる「ほほえみフェスタ」への参加依頼がありました。

【本日の昼食】

金沢ニューグランドホテルさんのカレー



本日のゲストスピーチは、石川県土木参与の浜田哲郎様から「歴史遺産の美を後世へ〜特別名勝 兼六園〜」と題してスピーチしていただきました。

「兼六園」の園名の由来は、中国宋の時代の詩人・李格非が書いた「洛陽名園記」の記述から、宏大・幽邃、人力・蒼古、水泉・眺望の相反する六つの景勝が兼ね備わっている庭であるとして、文政 5 年（1822 年）に「兼六園」と名付けられました。

「兼六園」の中でも、特に優れている点として、「水泉」と「人力」があります。「水泉」とは水のこと、水は山間や谷底など低いところを這う。だから水と戯れながらの遠望は無理なことである。しかし、それを可能にしたのが「辰巳用水」です。

「辰巳用水」は、今から 390 年前に 9 か月の突貫工事で作られましたが、今でも兼六園やその周辺に水を運んでくれる、金沢市が誇れる「用水」です。次に「人力」ですが、人の力が入れば昔からの自然が失われてしまうのは、当然のことである。兼六園を訪れる人々も、園の隅々まで人の手が入っていることを認めながら、その一方で、さびた趣を感じることができます。そこには、7 人の専属庭師と 23 人の作業員が日々、兼六園を美しくするために働いているからこそであり、後世につないでいかなければならないとスピーチしていただきました。



最後にテールツイスターの永野琢也 L.が登場し、ドネーションの発表をして第 1518 回通常例会は終了しました。

（記事：中村吉興計画委員長）